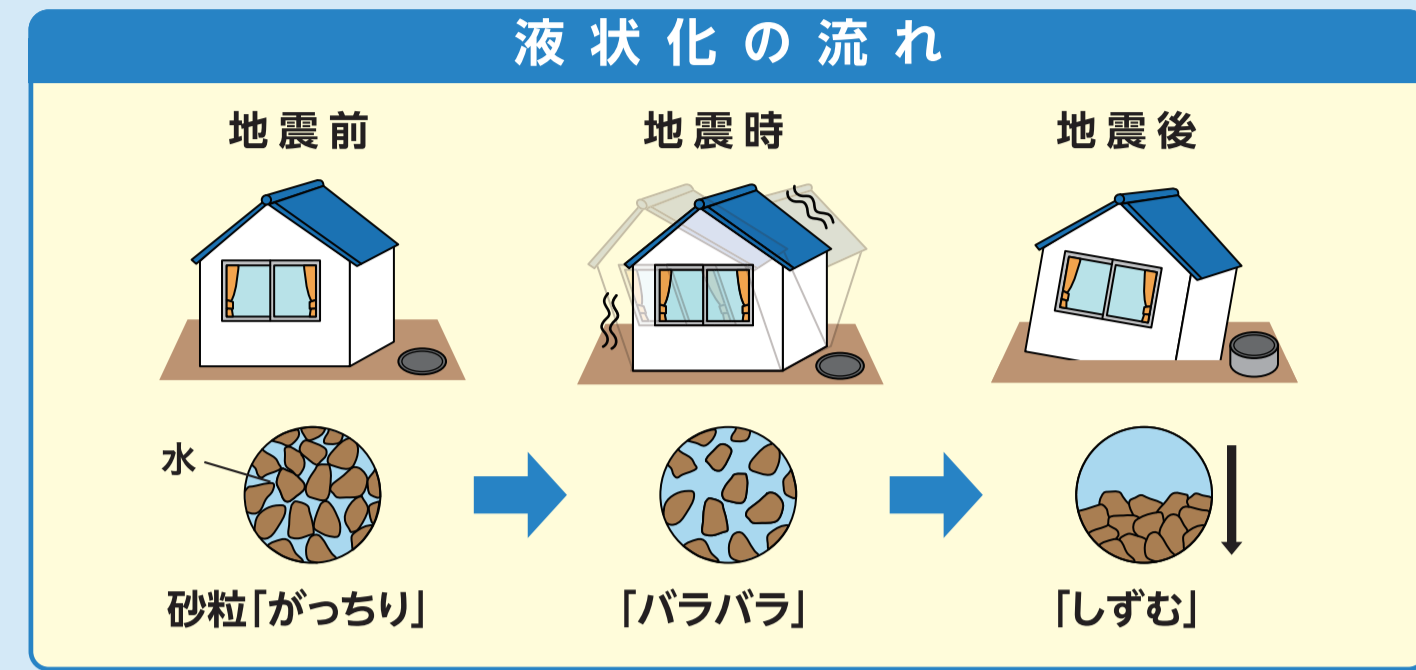


# 液状化ってなに？

液状化がどのような現象か、理解しましょう。

## 液状化発生の仕組み

液状化とは、地震による大きな揺れで地盤が一時的に液体状になる現象です。



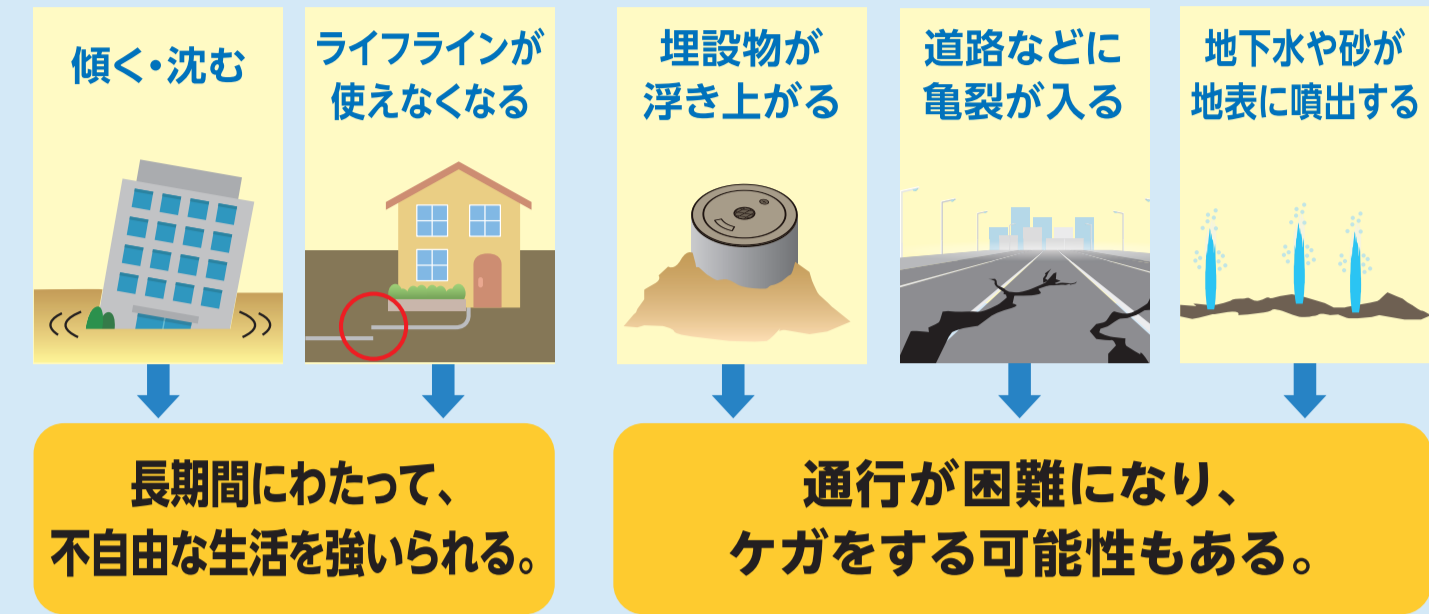
## 液状化被害の例

強い揺れが確認された2011年東日本大震災では、阿見町でも液状化が確認されました。液状化した地盤内で軽いマンホールが浮き上がり、車による通行ができなくなりました。



## 液状化被害の影響

液状化が発生すると下のような被害が発生することがあります。被害の大きさによっては、元通りの生活になるまで長期間かかる場合があります。



## 揺れによる被害

液状化以外にも注意しましょう

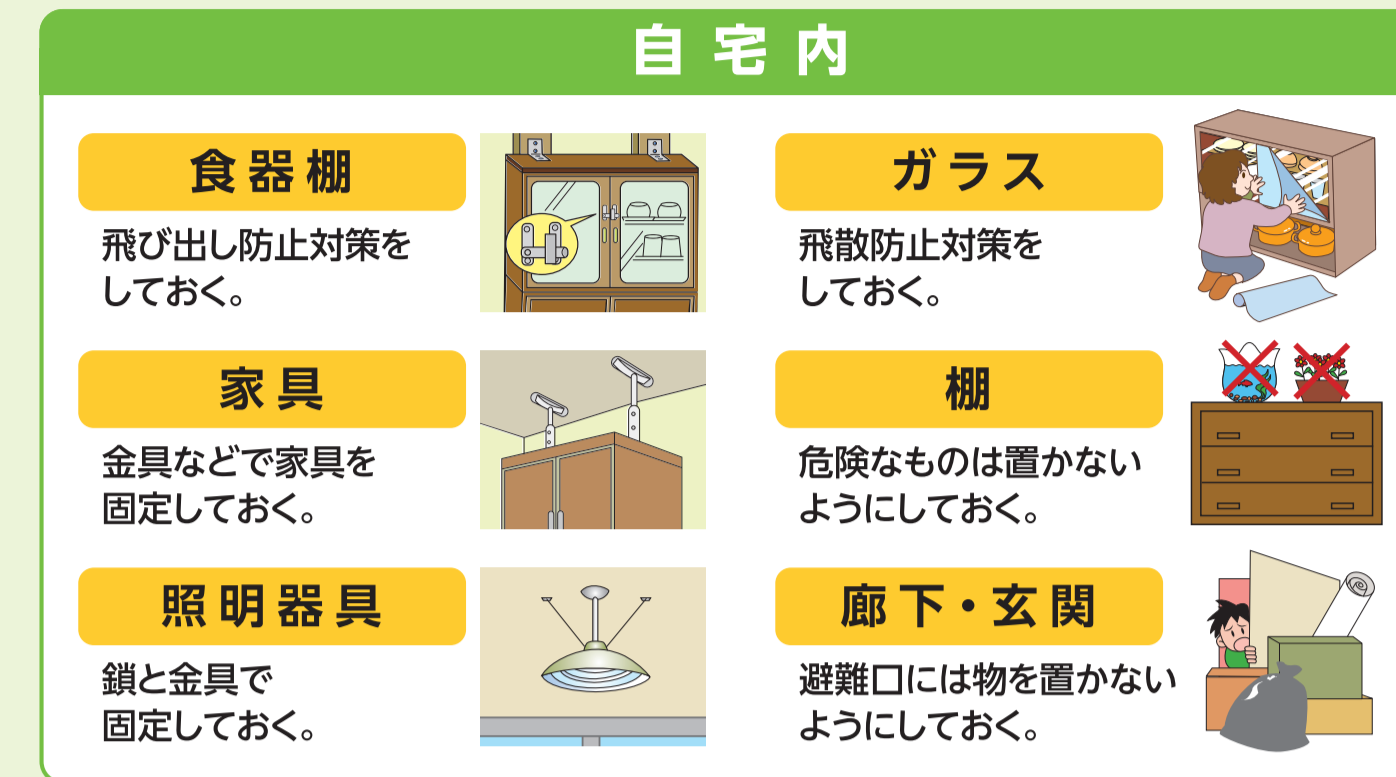


# 今日からできる対策は？

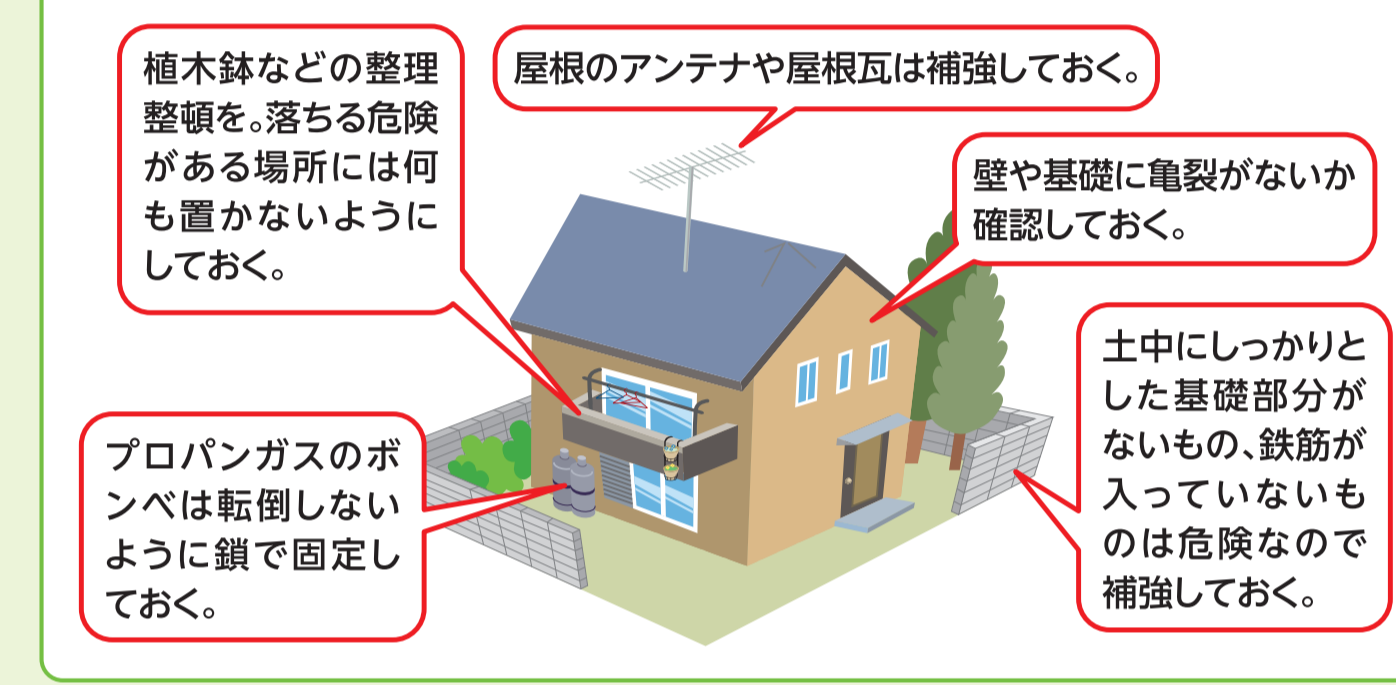
液状化対策は、個人でできる対策が基本です。一部の対策については、阿見町が支援などを行っています。

## 自宅の安全確保

揺れに備えて、自宅の中だけでなく、周辺の安全も確認しましょう。

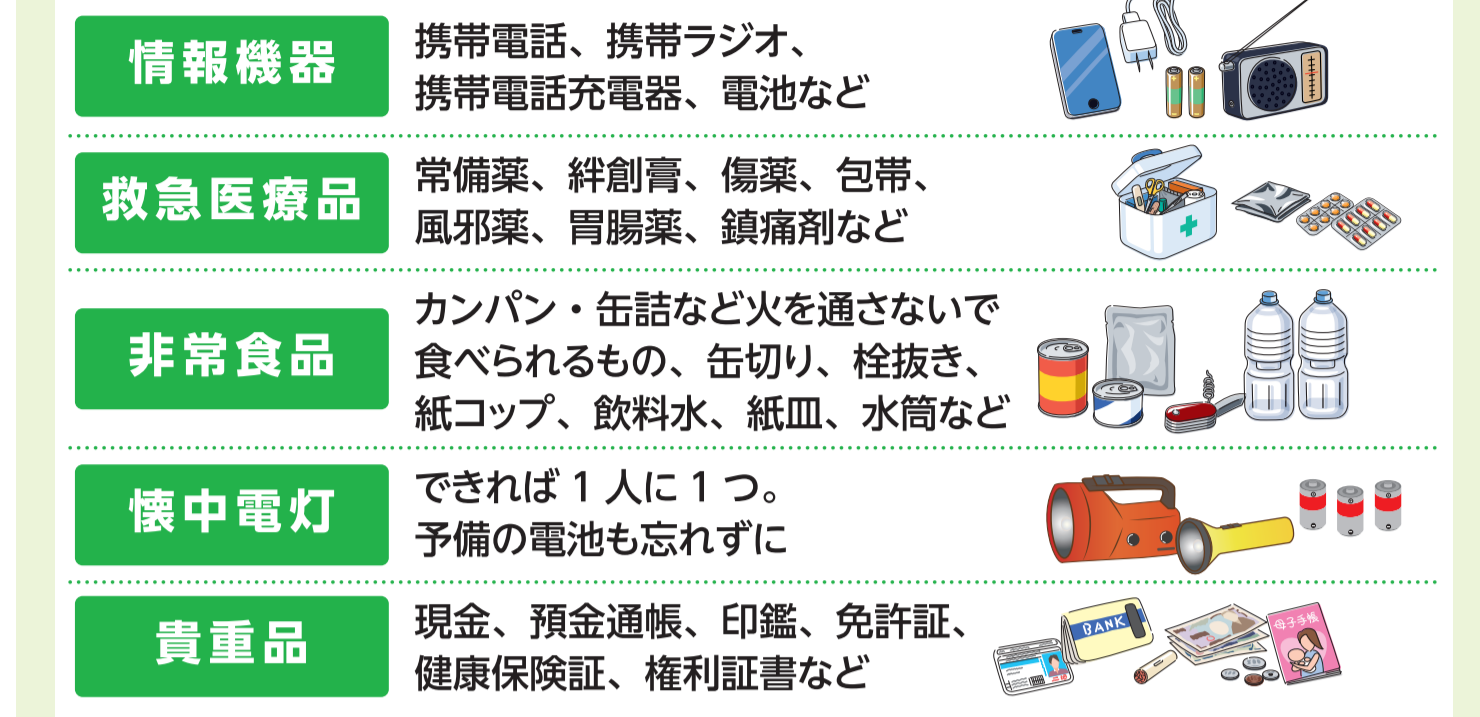


## 自宅周辺



## 非常持ち出し品

必要最低限の食料や飲料水、生活必需品を用意し、すぐに取り出せる場所にまとめて保管しましょう。



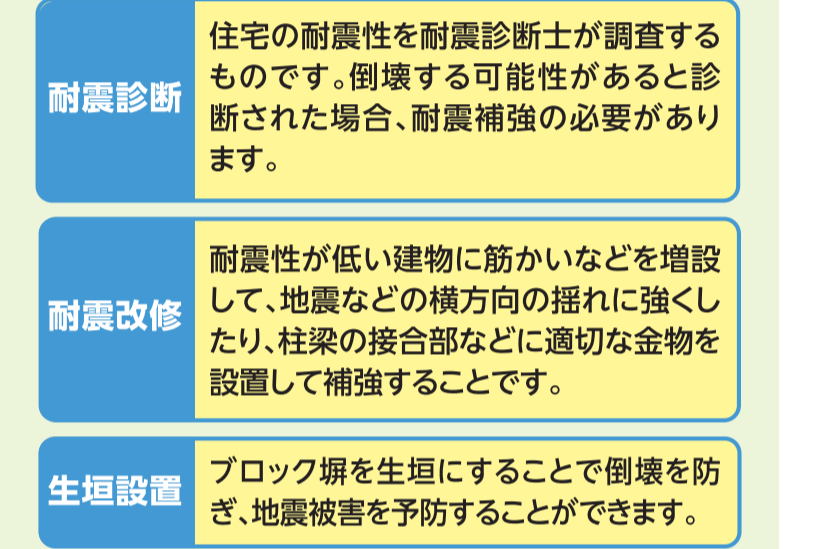
## 避難訓練

地震時に落ち着いて適切な避難行動や応急活動ができるように、日頃から十分な訓練をしておくことが重要です。地域の防災訓練に積極的に参加し、次の点について確認しておきましょう。



## 阿見町の災害対策支援

阿見町では、地震による被害を軽減するために、以下の内容に係る費用の補助を行っています。



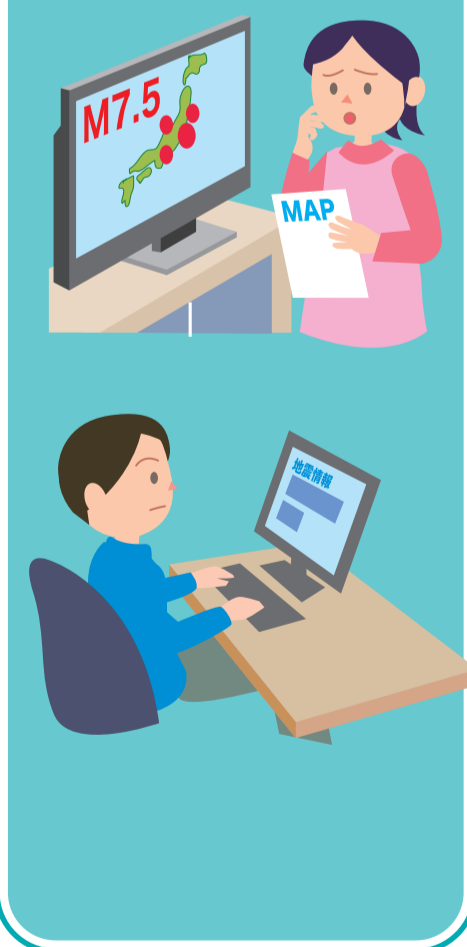
# 情報の入手先

災害時に正しい情報を入手するためには？

**阿見町などの行政から住民のみなさんに伝える情報**

- 防災行政無線**: 災害に関する情報などを町内90箇所に設置したスピーカーから放送します。
- 緊急速報メール・エリアメール**: 気象庁が配信する緊急地震速報や津波警報、特別警報、国や地方公共団体が配信する災害・避難情報を特定のエリアの携帯電話に一斉にお知らせします。登録は不要です。
- あみメール**: 防災・防犯情報など、緊急かつ特別にお知らせしたい情報をお伝えするサービスです。詳しくは阿見町ホームページをご確認ください。

住民のみなさん



住民のみなさんが自分で入手する情報

- 防災行政無線**: 放送内容は[0120-131-813]に電話をかけることで確認できます。
- 気象庁ホームページ**: 様々な災害についての情報を入手できます。
- NHK データ放送 (テレビリモコンのdボタン)**: 地震や津波、噴火などが起きた際には、震度や津波の高さ、警報や注意報などの情報を速やかにお伝えします。また、災害情報や避難所情報、交通やライフラインについての情報もご覧いただけます。

災害時の問合せ先 液状化が確認された場合や助けが必要な時は、下の緊急連絡先に連絡しましょう。

- 阿見町役場**: 中央1-1-1 ☎029-888-1111
- 稲敷広域消防本部阿見消防署**: 若栗3337 ☎029-887-0119
- 阿見地区交番**: 阿見4801-1 ☎029-888-0110
- 牛久警察署**: 牛久市下根町491-1 ☎029-871-0110

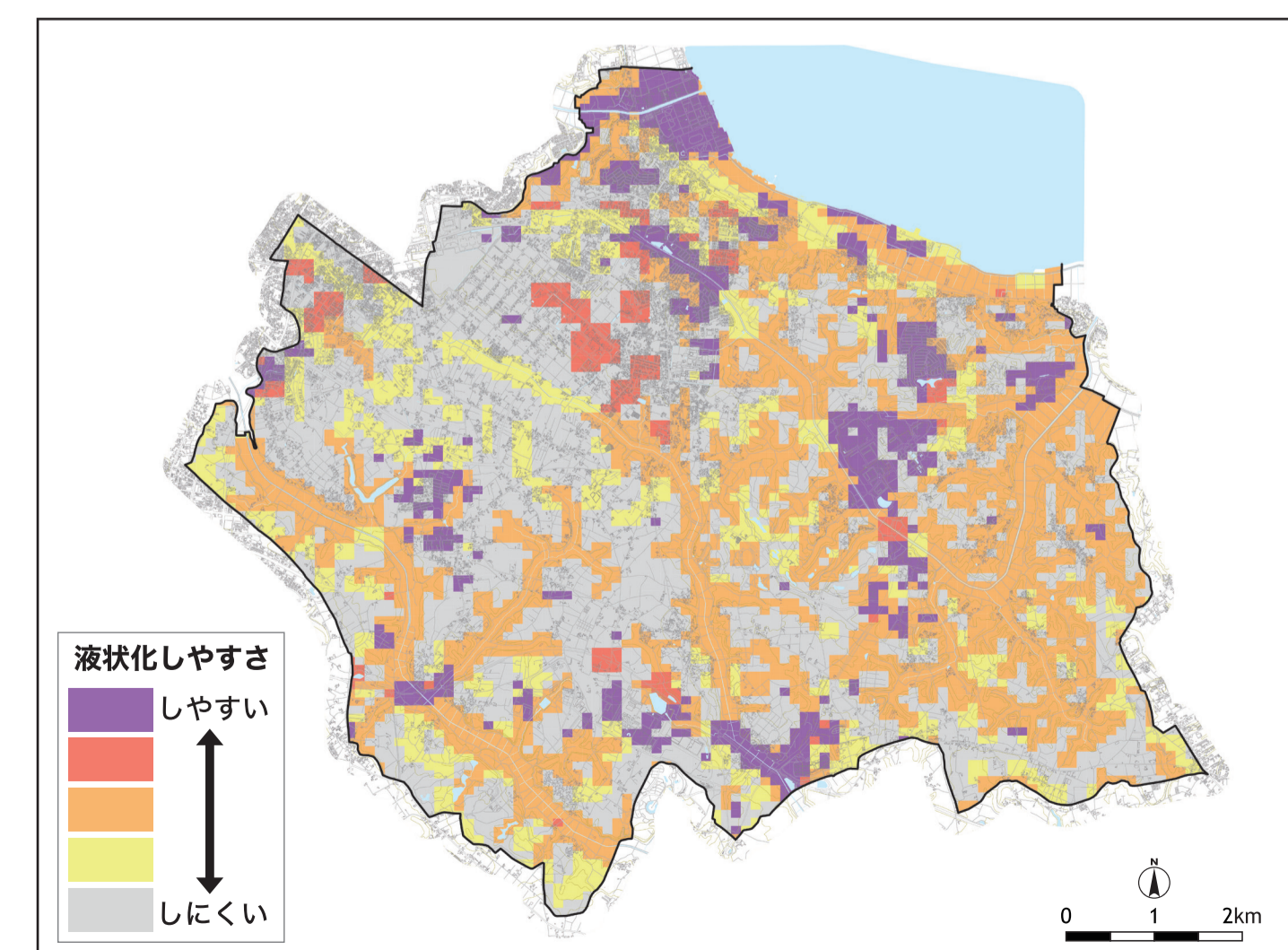
# 液状化しやすい条件とは？

阿見町は、霞ヶ浦湖岸沿いに位置し、大部分を稲敷台地と樹枝谷の谷が占めています。谷は埋立地や過去に河川だった場所が多く、液状化しやすいと考えられています。

また、台地においても、地盤が締め固められていない宅地造成地などが分布しているため、注意が必要です。一般的に液状化しやすいとされる条件は、下の3つです。

- ① 砂地盤 ② 緩く堆積した地盤 ③ 高い地下水位

下の図は、『地域の液状化発生傾向図』(表面)と『宅地の液状化危険度マップ』(右図)とは別に、阿見町が独自に作成した地図です。この地図では、微地形と地盤情報などを利用し、液状化3条件を踏まえて、液状化しやすさを総合的に評価しています。



# 宅地の液状化危険度マップ

液状化が発生した場合を想定し、地盤情報から宅地被害の可能性を3段階で評価しています。液状化発生傾向が強く、液状化被害の可能性が高い地域は、特に対策を徹底してください。

※地盤情報が得られた地域のみ評価しています。

